



岡野伊平編

訂正字音假字便覽全

静觀堂藏板



加字



利和
123
卷

自序
今や軍師の序代に於て内外此文章
兼小具を修治し活字を去り難徳少新
し標しこれより大なるかれしと云は
ぬ非全をすけし或る古き様字を海を
小標ししをすけし或る古き様字を海
を小標ししをすけし或る古き様字を
とゆひしあはるる小おしあはるる
字を海をすけし或る古き様字を海
并三二のあはるる小おしあはるる

自序
争見堂藏板

也悉正一の

一世の傳を承る、いろは文字ハ一般幼時まづ學ぶが習俗まで已み千有餘年上下とも重寶せり、こゝにや四十七音無同字の歌みて、その中にある、イ。エ。ウ。エ。オ。ヲ等ハ咸異音別字なるを、あひく言語の訛りもて來て、イ。ヒ。フ。等ヲ言分つ事を知らず、唯同音此文字が二つづあり、とやうもの心得從來端のい、中のある、或ち前のい、奥のえなどいひて分つ事とぬり、ウ。ヅ。のら訛れる言語をあそせて互に混用あるより、これを書の上正さんぐ為假字用法と云言ハ出來しと、それより此筋の書多く出來て皇國語の仮名に於て、い今ハなき、カ。マ。ノ。之ふ、カ。マ。ノ。若しと雖實ハ現身の口よ、いふ所五十音但鼻聲の、

捉音のつ、其他すべての濁音を除く、みて全一と謂ふべし

○五十聯音圖

アイウケオ	ハヒフヘホ	<small>圖中心の予の三音ハ從來口呼を關きたるが故、之は充てたる文字の制ハ</small>
カキクケコ	マミムメモ	<small>無り、<small>リ</small>を稱、此事の發明ありより</small>
サシスセソ	ヤレユエヨ	<small>新ハ先哲の作れるは、今ハ據れり、此文</small>
タチツテト	ヲチヲエヲ	<small>字の出所咸憑據あり之を畧す</small>
ナニヌノ		

故彼四十七音まで、いも、あ、行の、や、行の、の、予の三音を關り、此等字音を正さん、みつき、ハ頗有用の事、彼用格ハ本居ぬ、創業の際未、此事ハ心附れざり、より、此誤りこそ多き、居れ、其一二を

彼用格一列は舉られざる央陽等の中英字ハ原音イヤウな
 るが故ハ直音アウ陽字ハ原音レヤウなるが故ハ直音ヤウにて各異
 あり又有字の如き漢の原音イユウなるが故ハ直音イウ呉の原音イ
 ユなるが故ハ直音ウ之遊字の如き漢の原音レユウなるが故ハ直音
 ユウ呉の原音レユなるが故ハ直音ユ之カレを同トキ虞尤の韻ハ
 屬せる字中もちうとゆいうとゆうとの違あり是を以て此外をたさ
 るべし猶委しきそまほしきれど簡便を要とせざる書なれは漢呉音
 圖說假字用例等ハ譲りて爰ハ畧しつ

一右ハレハ如くなれど今の假名遣ハ四十七言中なるいえよ
 行ヤを兼ねず行ハうハ混じて用ゐる例なれは用例ハ各別ハ舉
 ぐ

れど今ハ故ハ之を分るべ但ヤ行の文字ハ傍ハを附しつ

一いゆうきゆうちゆうまゆう等のたぐいはいうきう等と中畧
 音の方を舉つ

一漢音を常呼とせしめ呉音を常呼とするありそハ孰ハ常呼の方をあげ

漢吳ともに常呼とせしめ雙方を舉ぐ譬へば皇ハ漢の原音を常呼とし

王ハ漢吳とも直音を常呼とし要ハ漢の原音レヤウなれど呉の直音

エウを常呼とし又香ハ漢の原音キヤウ直音カウなるが孰を常呼

とせざる故雙方ハ舉る類と或ハ漢吳とも正音ありぬハ常呼となれ

譬へば裕ハ虞韻の字にて正音レユナれどハ常ハ引て呼ぶ故ハい
 實ハの處ハ出づが如ハ但此等ハを以て之を分てり

一字下小漢い何と注せる處の本文い吳音、吳い何と注せる處の本文い漢音なりと知るべし

一文字同傍等の例よても大方假字の違ひあらず、たあし持いぢ、時いト、又惟唯い、い、實のい、や、ま、て、惟、い、る、なるが如き紛い、き、あ、れ、を、此等の文字よ、い、傍、よ、△を記しつ

一文字よ古文あり省文あり俗字あり此等一方を省くとつゞてもその通用よろしきい並よこれを舉ぐ

一ド、ぢ、ず、つ、等紛い、き、假字の外なる濁音の字い渾て清音よ混どて舉たれを其心して見るべし

訂正 字音假字便覽目次

○あやわ三行之假字

い	一丁	ゐ	一丁	え	一丁	ゑ	一丁	お	一丁
を	一丁	ゆ	二丁	う	二丁	えい	二丁	ゑい	二丁
いう	二丁	いふ	二丁	ゆう	二丁	えう	二丁	えふ	二丁
やう	二丁	よう	二丁	おう	三丁	あふ	三丁	をう	三丁
あう	三丁	あふ	三丁	ほう	三丁	いん	三丁	りん	三丁
えん	三丁	ゑん	三丁	あん	四丁	をん	四丁	いん	四丁
あく	四丁	をく	四丁	ゐき	四丁	えき	四丁	ゑき	四丁
いつ	四丁	ゐつ	四丁	えつ	四丁	ゑつ	四丁	おつ	四丁

あつ 四丁 いち 四丁 ちち 五丁 おち 五丁 ちち 五丁

○か行之假字

かう 五丁 ちう 五丁 附く かふ 五丁 こふ 五丁

くさう 六丁 きやう 六丁 きよう 六丁 けう 六丁 けふ 六丁

きう 六丁 きふ 六丁

○さ行之假字

さう 六丁 そろ 七丁 さふ 七丁 そふ 七丁 さやう 七丁

さよう 七丁 せう 七丁 せふ 八丁 しょう 八丁 附くゆ

しふ 八丁

○た行之假字

たう 八丁 とろ 八丁 たふ 八丁 とふ 九丁 ちやう 九丁

ちよう 九丁 てう 九丁 てふ 九丁 ちう 九丁 ちふ 九丁

○な行之假字

なう 九丁 附ねい のう 九丁 のふ 十丁 なやう 十丁

みよう 十丁 ねう 十丁 ねふ 十丁 みう 十丁 みふ 十丁

○は行之假字

ちう 十丁 ほろ 十丁 はふ 十丁 ほふ 十丁 ひやう 十二丁

ひよう 十二丁 へう 十二丁

○ま行之假字

まう 十二丁 もろ 十二丁 附む みやう 十二丁 附めい

めう 十一丁ウ

○ら行之假字

らう 十一丁ウ ろう 十一丁ウ らふ 十一丁 ろふ 十一丁 りやう 十一丁

りよう 十一丁 れう 十一丁 れふ 十一丁 りう 十一丁 りふ 十一丁

○ドぢずづ之假字

ぢ 十一丁ウ ぢ 十一丁ウ ず 十一丁ウ づ 十一丁ウ ぢや 十一丁

ぢや 十一丁 ぢゆ 十一丁 ぢゆ 十一丁 ぢよ 十一丁 ぢよ 十一丁

ぢやう 十一丁 ぢやう 十一丁ウ ぢよう 十一丁ウ ぢよう 十一丁ウ ぢう 十一丁ウ

ぢう 十一丁ウ ぢふ 十一丁ウ ぢふ 十一丁 ぢん 十一丁ウ ぢん 十一丁

ぢゆん 十一丁 ぢゆん 十一丁 ぢやく 十一丁 ぢやく 十一丁ウ ぢゆん 十一丁ウ

ぢゆん 十一丁ウ ぢよく 十一丁ウ ぢよく 十一丁ウ ぢく 十一丁ウ ぢく 十一丁ウ

ぢき 十一丁 ぢき 十一丁 ぢつ 十一丁 ぢつ 十一丁 ぢゆつ 十一丁

ぢゆつ 十一丁 ずる 十一丁 づる 十一丁

○韻之いゝる之假字 十五丁ウ

○拗音中下之假字 十五丁ウ

○韻之んむ之假字 十六丁

○入聲ふづ之假字 十七丁ウ

訂正字音假字便覽目次終

訂正字音假字便覽

岡野伊平編

○あやわ三行之假字

い

伊咿意噫倚倚猗懿矣禕以上衣依辰娃哇鄣

矮賤以上○以苾移夷姨飴怡詒易已圮頤

異弊翳醫肄以上遺墳唯惟維維唯以上

漢ハ○ヤ行ノ附タルハ皆之

る

為位洧鮪惟委萎倭透葦葦偉緯緯違闡圍巢

畏胃渭蝟謂威尉慰熨以上穢饑以上

え

衣依以上愛哀埃以上○盈

雄熊漢以上 〇 本文ハスベテ

いふ 邑ハ 揖ハ 挹ハ 熠ハ 以上漢ハ

ゆう 由ハ 油ハ 柚ハ 蚰ハ 酉ハ 猷ハ 猶ハ 遊ハ 游ハ 誘ハ 莠ハ 攸ハ 悠ハ 繇ハ 幽ハ 以上漢ハ

えう 融ハ 彤ハ 勇ハ 以上漢ハ 裕ハ 漢ハ

えう 夭ハ 妖ハ 殀ハ 拗ハ 以上漢ハ 〇 要ハ 婁ハ 腰ハ 遙ハ 謠ハ 搖ハ 瑤ハ 曜ハ 耀ハ

えふ 幺ハ 恹ハ 窈ハ 姚ハ 杳ハ 以上漢ハ 幼ハ 又ノ音

えふ 曄ハ 燁ハ 以上漢ハ 〇 葉ハ 厭ハ 覓ハ 壓ハ 厖ハ 以上漢ハ

やう やう 易ハ 楊ハ 揚ハ 瘍ハ 陽ハ 觴ハ 羊ハ 恙ハ 佯ハ 樣ハ 養ハ 以上漢ハ 瓔ハ 瓔ハ 漢ハ

よう よう 庸ハ 傭ハ 牖ハ 甬ハ 勇ハ 俑ハ 踊ハ 涌ハ 恣ハ 容ハ 蓉ハ 溶ハ 裕ハ 裕ハ 以上漢ハ

孕ハ 媵ハ 蠅ハ 以上漢ハ 〇 雍ハ 壅ハ 擁ハ 養ハ 癘ハ 鷹ハ 膺ハ 以上漢ハ

おう 翁ハ 翁ハ 甕ハ 邕ハ 雄ハ 以上漢ハ 應ハ 漢ノ原音 鷗ハ 歐ハ 漚ハ

おふ 嘔ハ 謳ハ 甌ハ 以上漢ハ 翰ハ 漢ハ 擘ハ 漢ハ

おふ 邑ハ 咈ハ 浥ハ 悒ハ 以上漢ハ 擘ハ 漢ハ

をう 弘ハ 薨ハ 翯ハ 以上漢ハ 泓ハ 漢ハ

あう 奥ハ 隩ハ 塿ハ 襖ハ 麤ハ 麩ハ 媪ハ 央ハ 快ハ 殃ハ 殃ハ 鞅ハ 缺ハ 缺ハ 霰ハ 鴛ハ 盍ハ 以上漢ハ

あふ 嬰ハ 嬰ハ 櫻ハ 鸚ハ 鶯ハ 英ハ 映ハ 霰ハ 以上漢ハ 拗ハ 咬ハ 宥ハ 以上漢ハ

わう 押ハ 鴨ハ 壓ハ 凹ハ 闔ハ 以上漢ハ 皇ハ 凰ハ 黃ハ 橫ハ 潢ハ 擴ハ 以上漢ハ

わう 王ハ 旺ハ 汪ハ 廷ハ 往ハ 枉ハ 以上漢ハ 皇ハ 凰ハ 黃ハ 橫ハ 潢ハ 擴ハ 以上漢ハ

いん 身ハ 殷ハ 慇ハ 隱ハ 以上漢ハ 因ハ 茵ハ 氤ハ 氳ハ 湮ハ 印ハ 引ハ 蚓ハ 以上漢ハ

寅寅 以上あ行漢ハ胤胤 ヤ行漢ハ尹尹 以上ヤ行

今音人古音音音陰陰飲 以上あ行本音淫

媯潭 以上漢ハ

るん 院員 以上漢ハ筠筠隕殞 以上漢ハ韻 漢ハ

えん 焉驕暱 以上漢ハ偃溷堰 以上漢ハ羶 漢ハ

淵浴鉛亮鳶 以上漢ハ炎弁拵奄菴淹掩 以上

延筵涎蜒演衍羨宴蠓燕醺煙咽捐娟綠掾

漢ハ 漢ハ沼 漢ハ鹽艷簷琰閻厭厭魘魘 以上

漢ハ 漢ハ袁遠猿轅園怨鴛苑宛婉寬爰爰媛援垣 以上

るん 袁遠猿轅園怨鴛苑宛婉寬爰爰媛援垣 以上漢ハ

おん 恩鰓 以上漢ハ隱憶 以上漢ハ音音陰陰飲

以上漢ハ

袁遠園怨苑苑 以上漢ハ穩饑温緼蒞 以上漢ハ

をん 郁澳燠械或隩育昱 以上漢ハ

億憶臆 以上漢ハ沃屋 以上漢ハ握渥齧 以上漢ハ

おく 域闕 以上漢ハ

をく 域緘械 以上漢ハ洫闕 以上漢ハ

るき 厄厄搯 以上漢ハ易場瘍亦奕液腋掖射益罍

えき

樂囂ハ以上 迎更ハ以上 梗硬ハ以上 鯁庚ハ以上 幸倖ハ以上 亨坑ハ以上 桁

衡耿鏗羹耕ハ以上

后垢妬逅後候候喉猴口扣鈎叩吼句苟鈎响

狗媾構寇厚穀ハ以上 公蚣孔工仝吐紅虹紅

玃証証颯鯨功功攻堆症茲澁永貢空控鷄鴻

驚供関洪恒ハ以上 弘薨ハ以上 興ハ以上

附 公孔工紅功貢供ハ以上 畧呼ハ以上

かふ 合哈哈閤盍蓋闔戸鉀磔浩○恰洽恰甲匣押

狎ハ以上

たふ 劫業ハ以上

くろう 光恍觥廣曠鑛曠曠罔軌○皇徨隍惶篁遑黃

橫潢鬻晃幌ハ以上 宏宏閎ハ以上

きやう 姜羌畺疆強腫緇鄉嚮響響向香亨享仰昂

行ハ以上 ○京鯨敬驚竟境鏡競馨莖莖經

輕頸勁刑形梗梗迎卿慶杏ハ以上 匡框筐狂

誑况況貺ハ以上 兄頃傾榮ハ以上

きよう 共龔恭菴供洪拱哄恐蛩鞏邛凶匈胸兕顛

興兢矜凝ハ以上 吳ハ以上

けう 喬矯橋矯驕敦傲竅堯僥曉驍曉澆翹梟叫

糾孝教校膠ハ以上

言正字音他字便覽

青藜室

けふ 映挾快缺頰篋叶効協以上吳脅脇囁憎業吐

劫怯胠以上吳夾峽俠莢狹以上漢

きう 久玖柩疚灸咎九仇鳩究休求毬救球裘斗糾

虬糾臼舅舊朽丘邱糗蚪蚯韭牛廐以上吳

弓芎穹躬窮宮以上直音クウ ○本文スベテ

きふ 急及吸汲級笈泣給翕歛以上吳

○さ行之假字

さう 早草臬噪燥譟躁繰藻操蚤蚤搔騷造慥艦糙

掃曹僧漕槽糟槽遭雙艘棗竈鏘倉滄愴槍蒼

創瘡搶踴壯莊裝妝裝裝藏藏賊賊相湘箱廂

想霜孀桑頽喪爽葬初象像椽養以上吳 ○巢

爪抓笊瑤以上吳 爭箏崢瑒淨錚以上吳

奏湊腠轉叟搜艘嫂廈藪藪沫漱嗽走簇以上

曾層僧憎增贈宋宗綜憎忽惚聰認函總

驄竣梭梭般峻駿叢儗嵩崇送以上吳 繒甌以上

さふ 雜囉礫轟呬匝颯卅以上吳 ○市挿扱翼以上吳

そふ 聿十以上漢

昌倡唱猖猖唱昌章障樟樟彰尚倘敞做廠常

掌嘗裳賞償向餉牆牆牆商將鏘獎漿醬妝牀

丁正字音他字便覽

七

争見字音便覽

床戕狀裝裝莊庄傷觴殤佯祥詳庠翔養象
像椽相湘想上匠斲以上吳ハ ○青青清倩精

請鯖靜生姓性甥笙青星猩醒晶正征証政

鉦省成誠阱箏淨諍聖聲以上漢ハ ○繞遶饒堯

以上吳ハ 壤攘讓襄以上吳ハ

志よ

松淞訟頌頹踵鍾鐘衝腫種春蠢椿從從縱蹤

悚竦誦以上吳ハ 升昇丞丞蒸拯承再稱勝贖

橙證以上吳ハ

せう

召沼炤招邵紹昭詔韶照小肖消梢稍道鞘蛸

銷硝銷宵霄少抄鈔焦焦焦焦焦醮蕭蕭嘯瀟

燒笑篠椒釗以上漢ハ

せふ

妾接浹賅楫楫捷捷以上吳ハ 翼插以上漢ハ 涉喃

摺攝以上吳ハ

志う

周秋楸萩歟愁秀守狩州洲酬修脩收售讎

就儻鷺囚岫袖繡舟臭獸羞醜蒐酉適首取陬

驟酒手藹皺鄒祝以上吳ハ 終終螽衆以上漢ハ

○ 本文スベテ

附 シユウノ中畧音

衆シユウノ本音

執以上漢ハ

習以上漢ハ

志ふ

十什汁卅拾集執習摺摺耳葺揖緝輯濕隰

斟襲以上吳ハ

○た行之假字

たう

儔濤禱嶋盜刀叨叨到倒滔蹈稻韜萄陶道導

討套桃逃悼唐塘糖堂黨儻棠當墻宕荅幢

湯蕩以上吳○掉掉以上吳惱腦瑤砒以上吳

丁打橙以上漢

とう

登燈橙橙橙○滕藤騰騰等東凍棟捅通童

董董動同洞桐洞銅筒冬疼夔統彤以上吳豆

逗頭鬥鬪斗讀竇投透以上吳耨吳ハ

たふ

荅答塔搭沓踏榻蹋以上吳劄吳ハ納衲以上吳ハ

ナフ又

とふ

佻漢ハ鋪牒以上漢

ちやう

長張帳帳脹漲場腸暢營袒以上吳ハ○丁町

汀打訂酊頂釘疔亭停廷挺涎禎聽廳以上漢

ちよう

重踵冢塚寵以上吳ハ徵懲澄以上吳濃穠以上

吳ハ

てう

朝嘲潮兆鈇眺挑窈晁凋凋調彫雕鷗裔鯛

跳召昭貂超迢刁釣鳥鳶肇鼯吊條篠鯨羅筱

掉掉以上漢ハ

てふ

牒牒葉輒以上吳喋蝶漂鞞牒謀帖貼瞽疊

以上吳聶聶以上吳愆垵以上吳

ちう 疇籌 丑宙 冑晝 稠稠 惆惆 肘肘 紂耐 以上吳ハ 紐鈕 以上漢ハ

徕徕 以上漢ハ 中仲 冲冲 忠衷 虫蟲 以上漢ハ 厨厨 踟踟 踰踰 以上漢ハ

スベテチユウノ中畧音 柱注 註註 駐駐 株株 蛛蛛 厨厨 踟踟 踰踰 以上漢ハ

ブテ呼 頭頭 漢ハ 頭頭 吳ハ 頭頭 漢ハ

ちふ 蟄蟄 以上漢ハ

○な行之假字

なう 脳惱 腦腦 以上漢ハ 寧寧 寧寧 以上漢ハ

のう 農濃 膿能 以上漢ハ 惱腦 腦腦 曩曩 以上漢ハ

のふ 納納 箇箇 以上漢ハ

みやう 寧佞 以上漢ハ

みよう 農 儻 儻 女 女御、女房ナド

ねう 饒 饒 饒 叟尿 以上漢ハ 繞 遶 饒 擾 以上漢ハ

ねふ 捻 擥 擥 嬾 嬾 以上漢ハ

みう 燭 物 燭 以上漢ハ 柔 柔 柔 揉 揉 以上漢ハ

みふ 入 井 漢ハ

○え行之假字

入 井 漢ハ

○え行之假字

入 井 漢ハ

○え行之假字

入 井 漢ハ

○え行之假字

入 井 漢ハ

そ

保葆堡褒裛寶抱袍報蚌邦暴瀑幫棒逢龐

方訪彷彿坊放妨芳舫房髻旁旁滂傍謗ハ上吳

○包苞泡咆抱袍飽砲鮑庖咆胞咆炮豹掣

殍爆爆拋ハ上吳妨榜榜磅磅棚彭亨ハ上漢

亡邛妄忙芒茫忘望罔網罔莽蟒湴有厖冒帽

眊旄毛髦ハ上吳卯昂茅貌藐ハ上吳

ほう

奉俸捧捧丰烽烽鋒逢峯蓬縫封豐汎鳳朋棚

鵬崩ハ上吳部培萼葩剖掬餉哀霽杯仆ハ上吳

夢曹蒙濛朦ハ上吳牟眸矛母拇某謀戊茂

質牡畝ハ上吳

ち

法乏ハ上吳

ほ

皂ハ上漢

ひ

兵平坪評萍并屏瓶病ハ上漢廟庶渺秒藐ハ上

ひ

馮桴ハ上吳憑凭冰ハ上吳繆繆ハ上吳

へ

表儀豹票飄瓢療漂標標爻苜殍庶鏤焱ハ上漢

妙ハ上漢

○ま行之假字

ま

亡妄忘望罔輞颯網莽ハ上漢今ハ上吳呼ハ上孟

ま

猛盲盲ハ上吳漢ハ上ハ上イ上

毛

毛耄髦

以上漢

蒙朦矇矇矇矇

以上漢

附 毛

夢曹牟矛謀

以上漢

明

明名茗命冥螟溟

以上漢

附 明

名命冥鳴

以上漢

苗

苗猫猫妙

以上漢

○ら行之假字

老

老牢牢潦醪勞癆良浪狼恨琅粮娘踉朗良郎

榔

以上吳

婁

婁婁樓婁婁婁婁漏陋

以上吳

弄哢籠瓏壟

隴瀧聾隴

以上吳

臘

臘蠟臈摺拉

以上吳

輿

漢

啞

啞

漢

聊

聊潦醪量糧梁梁兩兩颯亮諒掠良

以上吳

○令苓苓領冷鈴靈

凌

凌凌陵綾菱

以上吳

稜楞龍瀧臆

以上漢

聊

聊琴蓼蓼廖廖僚僚僚僚了了料

以上漢

獵

獵鬚

以上吳

柳

柳茆留溜溜溜溜溜劉瀏流流硫

以上吳

立

立粒笠

以上吳

以上漢

本文スベテ

言部音部

青雀

○濁音ぢぢずづ之假字

ぢ 尔爾邇兒二貳耳頤咀而以上吳 自事璽示眇

ぢ 寺侍侍時時茲慈字似似辭次茨兕以上漢 尼泥溼悞侷

ぢ 持峙峙時痔痔墀穉治地以上漢 除除目ナド

ぢ 繭瀾膩以上吳 孀孀衿規以上吳 除除目ナド

ぢ 音ハ柱琴柱ナド 壽受受授授就就驚兕以上漢 需孺孺

ぢ 襦縐孺娶聚以上吳 從誦漢ノ原音 需孺孺

ぢ 豆到頭逗鬥以上漢 厨厨ト 途圖杜徒兔菟以上

ぢ 漢ハ疇稠以上漢 厨厨ト 途圖杜徒兔菟以上

ぢや 若惹以上吳 蛇蛇謝柘麝闍邪耶耶挪以上吳

ぢや 佗陀舵舵以上漢 直音列

ぢゆ 壽壽疇受受授授就就驚兕以上漢 聚鑄

ぢゆ 豎樹需縐以上吳 孺孺孺孺以上吳 從誦以上

ぢゆ 入集以上

ぢゆ 儔儔情疇以上漢 住拄柱以上漢

ぢよ 汝妝如茹以上吳 怒絮杼杼杼栗 舒序徐叙助

ぢよ 鋤以上漢 清音シヨ

ぢよ 女衽以上吳 杼杼機杼 除涂蔭箸儲以上漢

ぢやう 常嘗嘗狀上襄以上吳 ○成城井情淨以上漢

丁三

十三

繞饒囊 ハ以上吳 壤攘讓讓囊 ハ以上吳

ぢやう 場丈仗杖 ハ以上吳 貞定錠錠 ハ以上漢 娘孃囊

釀曩 以上吳 裏孌饒繞撓尿 ハ以上吳

ぢよう 丞丞蒸拯乘剩澠繩 ハ以上吳 茸筭穠穴 以上吳

仍 子ハ

ぢよう 儂膿濃穠 ハ以上吳

ぢやう 就鷲獸壽受授綬受咒 ハ以上吳 充銃械械從 以上

戎絨 以上吳 柔蹂揉 ハ以上吳

ぢやう 徕猱糅 ハ以上吳 重 漢ハ 住 厨

ぢふ 十什汁拾澁 ハ以上漢 廿入 ハ以上吳

ぢふ 菟囚 ハ以上吳 ○ 處ヲモ見合スベシ

ぢん 人仁刃仞忍認 以上漢 神賢盡儘燼訊迅 以上

漢ハシヌ ○ 壬任妊絰胔荏荏 以上漢 甚

湛尋 以上漢

ぢん 塵陳陣 以上漢 紉 以上吳 ○ 衽誑 以上吳 戡蹇

沉 以上吳

ぢゆん 純惇淳諄醇鶉順巡馴旬荀筍笋徇洵恂殉尊

盾循楯隼准準道道駿 以上漢 閏潤 以上漢

ぢゆん 屯 卦名 迤酖 以上漢

ぢやく 若惹弱 以上吳 雀鵲 以上吳 昔惜籍寂石

ぢやく 諾 ハ直音ダク 擗 以上ハ 擗 以上ハ 擗 以上ハ 擗 以上ハ

ぢやく 惕 ハ以上漢 擗 以上ハ 擗 以上ハ 擗 以上ハ

ぢやく 塾 以上漢 塾 以上漢 塾 以上漢 塾 以上漢

ぢやく 軸 以上漢 軸 以上漢 軸 以上漢 軸 以上漢

ぢやく 辱 以上漢 辱 以上漢 辱 以上漢 辱 以上漢

ぢやく 僣 以上漢 僣 以上漢 僣 以上漢 僣 以上漢

ぢやく 肉 以上漢 肉 以上漢 肉 以上漢 肉 以上漢

ぢやく 軸 以上漢 軸 以上漢 軸 以上漢 軸 以上漢

ぢやく 食 以上漢 食 以上漢 食 以上漢 食 以上漢

ぢやく 蝕 以上漢 蝕 以上漢 蝕 以上漢 蝕 以上漢

ぢやく 直 以上漢 直 以上漢 直 以上漢 直 以上漢

ぢやく 日 以上漢 日 以上漢 日 以上漢 日 以上漢

ぢやく 昵 以上漢 昵 以上漢 昵 以上漢 昵 以上漢

ぢやく 述 以上漢 述 以上漢 述 以上漢 述 以上漢

ぢやく 怵 以上漢 怵 以上漢 怵 以上漢 怵 以上漢

ぢやく 藥 以上漢 藥 以上漢 藥 以上漢 藥 以上漢

ぢやく 發 以上漢 發 以上漢 發 以上漢 發 以上漢

今の口呼ぢをぢみ混ドづをぢと同音み呼べど

言正字音假字傳覽
青菴堂藏
もジズハ齒音、チヅハ舌音なる事を心得て呼試
れむおのづりら判然たるべし

○韻のいゝ之假字

すべて五十音ハあ緯の諸音あり。さだな等又え緯
の諸音えげせでね等の字の韻ハあいかいさい又
えいけいせい等の如くあ行のいの假字なり。さて
う緯の諸音うくすづぬ等の字の韻ハうぬくぬす
ゐ等の如くわ行のゐくと心得べし

○拗音中下の假字

同上一い緯の諸音いきいちふ等の字の韻ハいやき

やーや等又いゆきゆーゆいよきよーよ等の如く
皆や行の假字と心得べし。同う緯の諸音中くの音
（他行ハ常呼の例ぬー）の字ハくわくさいくさう
くまんくまつくまつ又くゑくゑいくゑんくゑつ
又くを等の如く必ずわ行の假字ハ限れりと心得べ
し

○韻のんむ之假字

すべて今撥て呼ぶ韻の假字ハもとま行のムミナ
るとな行のヌニなる。と二種みしてんと書くハ已
み詔りたる上の事なれど孰をもんと書くハ宜し

これどもむと書てい通ぜざるあり然るを用格も
 んむ相通をといそれたるより便覧の類も悉
 むと擧これどさてい違つること多し、その韻鏡も
 別れたるが如く我古書もも從て區別正しく用る
 分たり譬へば万葉集も字音を訓も借て書るが中
 小亂今還金知三數敢獨念又監兼險監覽南點等の
 皆韻鏡の深咸ふ納めたるム三の韻の字なれども
 ぐれ來むひくり寢む又らむ等と書て宜し
 れども或い葦邊波不飽君今夕彈湯鞍干など書る
 類の邊君彈干等の韻鏡泰山ふ屬せる又ニの韻の

字なれどもむと書く誤なりまゝ此等の葦邊波を
 あむむの不飽君をありなくむと訓て聞ゆべ
 んや我國の名も讚岐丹波今タシバと言ひ難波
 をナシバといふと同トキ訛りの所謂な行の又ニ
 の韻也信濃も同トくな行の韻もて第一位のなふ
 さ一通いひひたるが此讚丹信等の字をさんた
 んしんとい書べられどもま行の韻の字ふあらぬを
 さむとむ等とい必書べらるが又常ふ誰も耳なれ
 ためる短冊蘭花等の短蘭も右の又ニの韻の字な
 れどもまをたんざくらんの花とい書べられども

たむさく、らむの花と書てい違ひ或い見ゆらん間
ゆらん、の類のらむふ此蘭或い此と同韻の字を書
てい誤れるが如し、されを今のむを除きて悉んと
のゝ舉つ、されど歌よまん人など或い折句、物、名等
此、ま行とな行との韻の區別を知らでいえあるま
じき事なれむ心得のゝめ各其處の下に細書せり

○入声ふつ之假字

入声の字、韻に其屬する所の轉ふよりてクキツフ
吳音ありいと分れり然れども元來一字を以て韻
をなすべ、次、字ふ讀移らんとし、るの間、其聲咽喉ふ

入らんとし、るが如き勢なるを形容して蓋入聲と
い稱する、譬へば彼、クキツフの韻字を上ふせる、
菊花石橋出品十千等を呼勢ふて、キツクワ、セツケ
ウ、シユツピン、ジツセンと讀むが如き是也、此時の
急捉聲を渾て假ふツト書り然れば立憲を、リツケ
ン、集注を、シツチウと讀むの宜し、然りといへども
設おれを轉倒して憲立注集とせんふ、ケンリツ、チ
ウシツと讀まん、誤なり然るを誰人か、譬へば國
立をコクリツと誤誦せしが如きあり、より立を
リツと讀む字と心得公立私立共立の類を盡ッコ

ウリツ、シリツ、キヨウリツ、とやうに讀む、比々皆然
 り、此字に限らば接近笠澤雜沓等をセツキニ、リツ
 タク、ザツタフ、と讀ぐ如きは、彼菊花の、キツクワ、に
 於るが如き書上假りたるツの假字にて正音のツ
 ふに非ざるを此等と働ひて應接を、オウセツ、簞笠
 をサリツ、混雜をコンザツ、等と讀むが如きも亦同
 トき誤り多猶然れば偶中ハ合併ハの如きガツペイ
 と言へど併合ハを併合ハと讀むを、或は全く間ば是唯
 言慣れざる語に由るのみ、て前と全く同例なる
 をや、此等の立笠集雜合等の字は各緝葉合の韻に

こそ屬せられモ異ナラン意質物等ハ屬せる事何の字
 書し見えざるふら、おのれ未之ヲを知らば姑爰に記
 して此道に深き士に質さんとす

訂正 字音假字便覽 終

言正字音假字傳覽
青蘆堂書林

明治十七年五月十四日 版權免許
同年七月 出版

編述人 岡野伊平

東京府平民

神田區皆川町三番地

出版人 關三一

東京府平民

本郷區駒込西片町十番地

發兌書肆 東生龜次郎

日本橋區通旅籠町三番地

